

連絡先	自動車局審査・リコール課 リコール監理室
TEL	03-5253-8111 内線 42354
アドレス	: http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 26 年 10 月 16 日

リコール届出番号	3441	リコール開始日	平成 26 年 10 月 16 日
届出者の氏名又は名称	三菱自動車工業株式会社 取締役社長 兼 COO 相川 哲郎 問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-324-860		
不具合の部位(部品名)	①原動機（タイミングチェーンテンショナー） ②原動機（エンジン制御用コンピュータ（エンジンECU）） ③原動機（ターボチャージャ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①タイミングチェーンテンショナーの張力調整機構の構造が不適切なため、タイミングチェーンにかかる張力が不足して、エンジン駆動中に異音が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、タイミングチェーンが破損し、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。 ②エンジンECUの燃料噴射プログラムが不適切なため、燃料噴射の学習機能が正常に機能しないことがある。そのため、DPF（ディーゼル粒子状物質除去装置）に過剰に煤が堆積し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。 ③ターボチャージャの可変ノズルベーンを駆動するリンク部の耐食性が不十分なため、当該リンク部が発錆して固着する場合がある。そのため、エンジンECUが過給圧異常を検出してエンジン警告灯が点灯し、出力制限を伴うフェールセーフモードに入るとともに、排気ガス濃度が基準値を超過するおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、タイミングチェーンテンショナーを対策品と交換する。また、タイミングチェーンシステムを点検し、損傷が確認された場合は、システム一式を新品と交換する。 ②エンジンECUのプログラムを対策品に書き替え、燃料噴射学習を実施するとともに、DPFを点検し、煤が過剰堆積しているものは新品に交換する。また、メンテナンスノートの「コモンレール噴射システム噴射量補正」点検整備方式のページにシールを貼り付け、正しい記載内容に訂正する。なお、エンジンECUが対策済みの車両は、メンテナンスノートの訂正のみを実施する。 ③全車両、ターボチャージャの可変ノズルベーンを駆動するリンク部のターンバックルを対策品と交換し、エンジンECUのプログラムを対策品に書き替える。		
不具合件数	①10件 ②69件 ③9件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に No. 3441 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び 製作期間	リコール対象 車の台数	備考
三菱	ADC-V88W	「パジェロ」	V88W-0200101～V88W-0300160 平成 21 年 3 月 18 日～平成 22 年 8 月 25 日	170 台	①170台 ②170台 ③170台
	LDA-V88W		V88W-0400101～V88W-0700240 平成 22 年 9 月 3 日～平成 26 年 3 月 19 日	775 台	①771台 ②775台 ③671台
	ADC-V98W		V98W-0200101～V98W-0300425 平成 20 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 26 日	1,742 台	①1,742台 ②1,742台 ③1,742台
	LDA-V98W		V98W-0400101～V98W-0701359 平成 22 年 9 月 1 日～平成 26 年 3 月 24 日	6,184 台	①6,148台 ②6,184台 ③5,335台
	(計 4 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 20 年 9 月 1 日～平成 26 年 3 月 24 日	(計 8,871 台)	①8,831台 ②8,871台 ③7,918台

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。